



### ⑤ 鳥海山日立舞などの看板 (にかほ市横岡)

縦1.53㍍、横3.05㍍。「ようこそ 郷土芸能の里 横岡へ」のタイトルや地区の歴史、写真入りの看板が設置された経緯を伺うと、齋藤朝次郎さんは「鳥海山日立舞や獅子舞をやっている人たちから『ここに看板があってもいいな』という話が出て、会社経営者の方が一式を寄附してくれました。14、5年前のことです」と話してくれました。鳥海山を間近に望むこの地はまた、「守りたい 秋田の里地・里山50選」にもなっています。



### ④ 大森歌舞伎の看板 (にかほ市象潟町大森)

縦1.2㍍、横0.9㍍。「農(能)に生きる 米と芸能の里」を謳う両面看板について、渡辺伸さんは「それまで長く途絶えていた大森歌舞伎を昭和63年に全36戸で復活させました。そこで看板も立てようという話になり、手書きして道路端に設置しました。今の看板は、17年くらい前に環境保全組織が看板屋さんさんに依頼し製作したものです。神明社のお祭りや獅子舞、サ工の神行事などと合わせ、伝統ある大森歌舞伎ですが、後継者の確保が困難で、現在、歌舞伎だけは残念ながら休止中です」と話してくれました。



### ③ おかめ神楽の看板 (山形県遊佐町上大内)

縦1㍍、横1㍍。「内ノ目 おかめ神楽 上大内」の文字とお面のイラストが描かれた看板が市道脇二カ所に。村上良一さんは「昭和50年頃、石辻バイパスが出来たことから、町指定無形民俗文化財の『おかめ神楽』があることをお知らせしようと、両面の看板を設置。現在の看板は二代目です。神楽は私たちが3年かけて復活させたものです。当時は47、8人でしたが、今のメンバーは11人です」と話しました。

..... 環鳥海山 看板設置



### ② 青沢獅子踊りの看板 (山形県酒田市北青沢)

縦2.7㍍、横3.1㍍。国道344号沿いに立つ大型看板で、表面は「獅子踊りの里 青沢」、裏面は鹿をモチーフにした獅子頭や舞台の絵が描かれています。



荒生道博さんは「林業会社の社長が地域づくりに賛同し寄贈してくれました。市内では5団体が獅子踊りを伝承していますが、青沢の獅子は『獅子跳ね』と言われるくらい、激しい踊りが特徴です。我々の世代は地区に小学校が2校もあったのですが、今は小中学生が8人で若者、担い手の減少が著しく、活動は休止状態です」と教えてくれました。